

# 参加者の感想

2016/10/29 ハンセン病講演会

福原さんのお話から、直接回復者と話をされてきた方ならではの事を教えていただきました。映像もあわせてお一人お一人の思い、支援者の思いを知ることが出来ました。たぶん、もっともっと様々な思いをもっておられる、また今は亡くなり無念の思いをもっておられたのだらうと思います。少しでもそれを知り、差別偏見がまだまだ残っている社会の一員としての自分の立場をしっかり自覚しておく大切さをあらためて強く感じました。もっともっと自分にできることを考えていきたいと思いました。ありがとうございました！



(松江市 40歳代)

=====

二千年を越すハンセン病問題の解決が今世紀に入り急速に進んでいることに、これまでの歴史・療養所入所者の人生などおもうことは多々あります。人権課題は解決できるもの！ハンセン病問題に次ぐ長い歴史がある部落差別の解消に向けて急ぎたい。

(松江市 50歳代)

=====

講演自体もさることながら、最後の質問時間にあった神奈川の事件に絡めた感想が心に残りました。 まだまだ勉強不足ですので、様々な会に参加して勉強していきたいです。 本日はありがとうございました。

(大田市 40歳代)

=====

私がハンセン病を知ったのは（言葉だけかも？）小中学校の教科書だったと思います。 記憶で話すのは申し訳ありませんが、たしかハンセン病患者とハンセン医師の写真が載っていました。 当時の教科書は差別用語が多々あったと思



ます。 ハンセン病も日本の歴史として教科書に載せるべきです。

(50歳代)

=====

ハンセン病羅患者の当事者の権利回復、損害賠償の運動等と併せて、その家族の差別問題、強制収容、家族離散の俎上に載せ実情をさらけ出した取り組みも肝要だと思う。（具体的には裁判闘争等）

また、羅患者とその家族の体験を語り継ぐ会を各地で展開したり、療養所見学を積極的に取り組む実践が必要かと思います。

(松江市 60歳代)